

氏名	武田 美津代	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士(学術)				
学歴	1984年埼玉県立短期大学第一看護学科、97年放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年文教大学大学院修士課程 人間科学研究科生涯学習専攻、08年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース				
経歴	1995年新潟県立看護短期大学助手、98-2002年埼玉県立衛生短期大学(埼玉県立大学短期大学部看護学科)助手、06年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、09-11年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース講師、15年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会(役職)	日本看護研究学会、日本看護技術学会、日本褥瘡学会、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、日本創傷・オストミー失禁管理学会、日本生涯教育学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	2020年度版 准看護師試験問題集	共著	あり	医学書院;p508	天賀谷隆、生井明浩、武田美津代 他(解答者40名)	2019.4
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	訪問看護師として働き続けるための要因-新卒者等訪問看護師育成プログラム参加者への調査から-	共同	第50回日本看護学会学術集会-在宅看護-、宇都宮市	○林裕栄、武田美津代、三塩操、中島悦子、畔上光代、水間夏子、稲木あい	2019.9	
2	訪問看護ステーション新採用者の活動と支援の現状	共同	第50回日本看護学会学術集会-ヘルスプロモーション-、長野市	○武田美津代、林裕栄、三塩操、中島悦子、畔上光代、水間夏子、稲木あい	2019.9	
3						
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	シート型体振動計を用いた一人暮らし高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	共同	2019年度奨励報告会、埼玉県立大学	○林裕栄、久保田富夫、武田美津代、新村洋未、畔上光代、滑川道夫、三塩操	2020.2	
2	訪問看護師育成のプログラムの検証	共同	2019年度奨励報告会、埼玉県立大学	○林裕栄、武田美津代	2020.2	
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
2						
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	看護過程論		16	科目責任者と事前検討を行い、演習のサポートを行った。看護過程の展開の演習では、4グループ程度を担当してペーパーパシエントの事例を用い、患者の理解から看護計画立案の指導にかかわった。		
2	看護方法 I		16	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。演習は3~4グループを担当し、限られた時間内に看護の基本技術を学習できるように留意した。		

3	看護方法Ⅱ	○	32	科目責任者として授業を計画し、運営した。科目担当者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。看護技術の原理原則を重視し、限られた時間内に日常生活援助技術を学習できるように留意した。
4	看護方法Ⅲ		16	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。看護技術の原理原則を重視し、限られた時間内に診療治療の援助技術を学習できるように留意し、安全にも配慮した。
5	看護方法Ⅳ		16	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。既習の看護方法Ⅰ～Ⅱを活用し、設定した事例に適したより良い援助方法の実践を学生が計画・実施できるようにアドバイスした。
6	感染管理		8	科目責任者と授業運営の検討を行った。臨床における感染対策が学べるようゲストスピーカーを招き、実践的な活動を知る機会を設けた。選択科目であり、感染症ごとの対策を学べるようゲームを取り入れた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし			
2				
3				
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	基礎看護学実習Ⅰ		2020.2	1年生36名を引率し、見学実習を指導した。初めての専門科目の実習であり、学生の体調管理、事故防止に努めた。
2	基礎看護学実習Ⅱ		2019.1	2年生10名(5名×2クール)の受け持ち実習を指導した。患者・学生の安全を確保できるように学生のケアに同行し、臨床指導者と連携して指導した。
3	総合実習		2019.7	基礎看護学領域内に配置された4年生27名の実習の中で、主として学内でサポートした。実習前には事前学習会に参加し、実習後の発表会が円滑に参加した。卒業研究担当学生も含まれていたため、総合実習の相談に応じながら支援した。
4	ヒューマンケア体験実習		2019.9	2施設(学生8名)を担当した。実習中は適宜施設を訪問し、学生の実習状況を把握して、学生が初めての実習に戸惑わないように指導者と連携し、情報交換した。学科を超えた学生の関係作りが円滑にできるよう、連絡調整した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導 4名	副指導 名
2			主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 名
3			主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	就職ガイダンス1(学年の就職支援活動)	2019.8	学年Webclassを開設し、就職に関連する情報提供と資料閲覧ができるよう工夫した。学年の就職支援担当として就職ガイダンス1を企画運営した。前年度から保健師・助産師・看護師・養護教諭として活動している卒業生を選出し、交渉や依頼をおこなった。第1部では就職準備や仕事内容を紹介してもらい、第2部では各職種を希望する学生と卒業生で小グループを作り、就職活動の心構えができるように交流できるようにした。	
	就職ガイダンス2(学年の就職支援活動)	2020.1	就職ガイダンス2を企画運営した。病院の採用状況や最近の動向、就職試験を受ける際の心構えなど、看護職の就職に詳しい専門業者と内容を吟味し、業者の協力を得て実施した。	
	就職ガイダンス3(学年の就職支援活動)	2020.2	就職ガイダンス3は実習病院を中心として、県内施設などの協力を得ながら各施設の紹介をいただき、4年次の就職活動に移行できるように導入である。2019.11から学生就職支援担当と協力し、施設の依頼や準備をおこなった。新型コロナウイルス肺炎の感染拡大により企画は中止になったが、可能な資料はWebclassに掲載し、閲覧できるように変更した。	
2	グローバルヘルス④(山西医科大学)	2019.4～2019.11	山西医科大学に短期留学する際に学生6名を引率し、山西医科大学教員・学生と交流を図った。留学準備として学生には中国語での自己紹介を練習する機会を設定し、文化などの事前学習や学生生活紹介のバワポ作成を指導した。短期留学後には学内で学びを発表できるように指導した。	

3	山西医科大学留学生施設見学(病院実習)	2019.8	留学生13名(山西医科大学6名、香港理工大学6名、チューリッヒアプ ライドサイエンス大学1名)を引率し、病院における2日間の見学実習を 引率した。香港理工大学・チューリッヒアプライドサイエンス大学担当 の教員と連携し、実習前の病院調整、実習中の学習サポートを行っ た。	
4	修士論文審査	2020.2	博士前期課程 看護学修士の大学院生1名の論文審査の副査を担当 した。主査と連携し、評価した。	
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県新卒者など訪問看護師養成プログラム	埼玉県訪問看護ステーション協会	褥瘡ケア、ストーマケアについて	2019.5、2019.11
2	指圧・マッサージを看護に活かす①	埼玉県看護協会	自律神経系を安定させ、リラックスさせる指圧・マッサージ の技術を学ぶ	2019.7
3	埼玉ストーマリハビリテーション講習会	埼玉ストーマリハビリテーション講習会実行委員会	ストーマリハビリテーション-講義、実習-	2019.9
4	2019年度 ナーシングマッサージ研修会	看護における指圧マッサージ研究会	ナーシングマッサージの基本理論と手技	2019.8
(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉ストーマリハビリテーション講習会実行委員会	委員	2015.11～現在	
2	埼玉ストーマリハビリテーション実習準備委員会	委員	2019.4～現在	
3	新卒者など訪問看護師養成プログラム作成委員会	委員、ワーキング委員兼務	2016.4～現在	
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし	埼玉県	山西省保健医療国際交流会	2019.11
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	主学的委員会及びセブター業務 等	国際交流委員	2018.4～2020.3	
2	学科等における委員会等	学年担任(現3年生)	2017.4～	
3	学科等における委員会等	就職支援PJ	2017.4～	
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				